

青森市子ども会議からの意見一覧

質問内容	意見の内容	学年
Q. 「子どもの権利」普及啓発に関する講座をもっと知ってもらうためには？ 意見：9件	勉強会の内容を詳しくリーフレットなどにのせる。	小学5年
	広報あおもりの市民スクールや市民センターの講座で参加者を募集する。	小学5年
	ポスターを作る。	小学5年
	子ども会議が勉強会に行き、その感想などのホームページ、リーフレットなどを作り配ればいい。	中学1年
	チラシを配る（何回も）。呼びかけ。	中学2年
	各学校で説明会を行えばいい。友達に教える。	中学3年
	皆が日常で見えるようなものにお知らせをつける。テレビやSNSなどを使う。	高校2年
	子ども会議が浪岡子どもの祭典でやったような、子どもの権利について楽しみながら知れるイベントを開催する。	高校2年
	保育園・幼稚園に宣伝しに行く。回覧板にはってみる。	高校2年
Q. 待機児童数を減らすためには？ 意見：8件	普通の家で、近所の子どもを預かってもらうようにすればいい。	小学5年
	小さい子どもがいる親に『ファミリー・サポート・センター』のお知らせのチラシを送る。	小学5年
	児童会と一緒に（保育も実施）する。	小学5年
	ボランティアを募って、各町内などで子どもの面倒を見て協力し合えばいい。	中学1年
	企業の中に託児所などを作ってもらえばいいと思う。育児休業中の補償を充実させればいい。	中学3年
	地域の人の協力。	高校2年
	保育科のある学校に預ける。 保育科がある学校で預かってもらう。預かる側は実践になり、預ける側は無償で預かってもらえる。	高校2年
Q. 青森市子どもの権利相談センターへの相談者数を増やすためには？ 意見：9件	相談して良くなった人の話を聞く。	小学5年
	お祭りやイベントの時にチラシを配る。チラシに「名前は言わなくてもいいんだよ」と大きく書く。	小学5年
	（学校の）放送（で呼びかける）。	小学5年
	子どもの権利相談センターのボランティアが、町内会に許可を得て町内に宣伝してもらおう。僕たちは、そういう講習会など（の機会）を作ってもらい発表をする。	中学1年
	子どもの祭典みたいなイベントを実施する。	中学2年
	子どもがたくさん集まる場所やイベントに参加すればいい。	中学3年
	皆が日常で見えるようなもので知らせる。テレビやSNSなどを使う。	高校2年
	学校の授業（道徳の時間やホームルームの時間など）で時間を2、3時間分くらい割いて子どもの権利について勉強する中で、子どもの権利相談センターについても教える。 回覧板にはってみる。	高校2年
Q. いじめをなくすためには？ 意見：10件	昔、いじめを受けて、いやだった人（大人）の話を聞く。	小学5年
	子どもたちにも子どもの権利を知ってもらう。学校で弁護士が子どもの権利についての勉強会をする。	小学5年
	先生に校内にいてもらうようにする。	小学5年
	いじめをなくすための講習会を行う事が大事。	中学1年
	「あなたの周りの人でいじめられている人を教えてください」などの質問でいじめ防止アンケートをとる。	中学2年
	先生が子どもたちを監視する。	中学3年
	いじめられている人がいたら、そばにいてあげる。声をかけてあげる。	中学3年
	いじめをどうやって防ぐべきなのか、生徒たちが考えて共有する機会を作る。授業で取り入れる。	高校2年
	クラス替えを毎年する。または、クラス替えの際に、ちゃんとした理由つきで一緒になりたくない人、一緒になりたい人などを書かせて参考にする。 いじめる側がいじめられる側を嫌いなのであれば、お互いが関わり合わないようにする。	高校2年
Q. 不登校をなくすためには？ 意見：10件	いじめをなくす。	小学5年
	フリースクールを紹介する。子どもたちと親に発達障がい勉強会を開く。	小学5年
	一日親と一緒にいく（通学する）。	小学5年
	同じような（不登校の）体験をした人から、詳しく話を聞くことが大切。	中学1年
	不登校の人は、私たちにどうしてほしいのかをまず知りたい。	中学2年
	不登校をなくすのは難しいと思う。	中学3年
	何をしてあげられるかわからない。	中学3年
	親や学校が本人に合わせながら段階的に対応できるように教育する。学校に絶対行かなければいけないという強迫観念が子どもを不登校にさせる原因になることが多い。「どうしたら学校に行ってくれるのか」を考えることより、「親や学校がどう受け止めてあげるか」を考え、子どもたちの不安を少しずつ取り除いていけるように、親や学校側への教育を徹底する。	高校2年
小・中（学校）も通信制にする。	高校2年	
小・中（学校）は元凶をなくす以外で解決できるのかわからない。高校生なら学校をやめればいい。義務教育じゃないし、時間とお金の無駄。	高校2年	